

## 2021年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社アシックス 上場取引所 東  
 コード番号 7936 URL <https://corp.asics.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C O O (氏名) 廣田 康人  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務統括部長 (氏名) 林 晃司 (TEL) 050-1744-3104  
 定時株主総会開催予定日 2022年3月25日 配当支払開始予定日 2022年3月28日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年3月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年12月期の連結業績（2021年1月1日～2021年12月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期	404,082	22.9	21,945	—	22,166	—	9,402	—
2020年12月期	328,784	△13.0	△3,953	—	△6,923	—	△16,126	—

(注) 包括利益 2021年12月期 26,033百万円 (—%) 2020年12月期 △22,648百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年12月期	51.38	51.33	6.9	6.5	5.4
2020年12月期	△88.17	—	△11.6	△2.1	△1.2

(参考) 持分法投資損益 2021年12月期 ー百万円 2020年12月期 ー百万円

(注) 2020年12月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期	345,773	146,537	42.2	798.08
2020年12月期	333,180	126,763	37.9	689.57

(参考) 自己資本 2021年12月期 146,080百万円 2020年12月期 126,221百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年12月期	49,146	△10,167	△25,968	95,275
2020年12月期	19,330	△9,634	31,336	80,474

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年12月期	—	0.00	—	24.00	24.00	4,393	—	3.2
2021年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00	4,392	46.7	3.2
2022年12月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00		43.4	

## 3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	3.9	23,000	4.8	22,500	1.5	13,500	43.6	73.77

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年12月期	189,870,559株	2020年12月期	189,870,559株
2021年12月期	6,829,533株	2020年12月期	6,827,657株
2021年12月期	183,004,752株	2020年12月期	182,888,311株

(注) 1株当たり当期純利益(連結)の算定の基礎となる株式数については、添付資料25ページ「1株当たり情報」をご覧ください。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料7ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2022年2月14日(月)に投資家向け説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する決算補足説明資料については、2022年2月10日(木)に当社ホームページ

([https://corp.asics.com/jp/investor\\_relations/library/financial\\_summary](https://corp.asics.com/jp/investor_relations/library/financial_summary))に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	5
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	6
(4) 今後の見通し .....	7
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	8
(6) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報 .....	8
2. 企業集団の状況 .....	9
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	10
4. 連結財務諸表及び主な注記 .....	11
(1) 連結貸借対照表 .....	11
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	13
連結損益計算書 .....	13
連結包括利益計算書 .....	14
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	15
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	17
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	19
(継続企業の前提に関する注記) .....	19
(連結貸借対照表関係) .....	19
(連結損益計算書関係) .....	19
(セグメント情報等) .....	21
(1株当たり情報) .....	25
(重要な後発事象) .....	25
5. 補足情報 .....	26
(1) 在外子会社為替換算レート .....	26
(2) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率 .....	26

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

**当連結会計年度の主要な取組み**

今期も、世界的な新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の影響により、各種競技大会の中止・延期や規模の縮小、直営店の臨時休業等の状況が一部継続しておりました。感染症拡大に伴いベトナム南部の工場における一時的な生産停止もありましたが、各地域での供給体制の確保および手元在庫の有効活用により、2021年の売上影響の極小化を目指しました。また、世界的なコンテナ不足による海上輸送費の上昇もありました。

売上高および営業利益は、全地域においてパフォーマンスランニングが好調に推移したこと等により、当連結会計年度において前期比大幅増収増益となりました。また、4年ぶりに売上高4,000億円を超過しました。

**◇デジタル**

全世界におけるECの売上高は伸長し、前期比では連結は+23%でした。結果としてEC売上比率は16%となりました。デジタルに関して、今期は下記の取組みを行いました。

**①ランニングプログラムの提供**

日本において、一般ランナーのパフォーマンス向上を目的にさまざまなランニング体験が得られる新しいサービス「アシックスプレミアムランニングプログラム」を4月に、11月には、ランニングを習慣化したい方から自己記録更新を目指すランナーまで全3コース（「エントリーコース」「ステップアップコース」「スピードコース」）を用意した「ASICS Running Program（アシックスランニングプログラム）」を実施しました。

**②ASICS World Ekiden 2021（アシックスワールドエキデン2021）を開催**

11月に、バーチャル駅伝レース「ASICS World Ekiden 2021（アシックスワールドエキデン2021）」を開催しました。オンライン上で結成されたチームで「デジタルたすき」を繋ぐ新しい形のランニングイベントとなっており、昨年同様に多くの方にご参加いただきました。全世界の人々と共にランニングを楽しむことができる機会を提供します。

**③NFTオークションの実施**

7月に、アシックス初となるシューズのNFT（※）である「SUNRISE RED NFTコレクション」をデジタルオークションで販売しました。

「SUNRISE RED NFTコレクション」は、アシックス初となるシューズのNFTです。オークションで落札したすべての所有者は、アニメーションやアプリケーション（Metaverse含む）において使うことができる本コレクションの3Dモデルやテキストチャーを受け取ることができます。アシックスは、デジタルマーケティング分野を強化しており、デジタル技術を活用したスポーツやライフスタイルにおける新たな楽しみ方を積極的に提案していきます。

※NFT：Non-Fungible Token（非代替性トークン）の略称で「偽造不可な鑑定書・所有証明書付きのデジタルデータ」

**◇パフォーマンスランニング**

パフォーマンスランニングの売上高は、全地域において大幅増収となり、前期比30%以上成長しました。

また、ストライド型、ピッチ型（※）の走法に応じて設計したトップアスリート向けのレーシングシューズである「METASPEED Sky（メタスピードスカイ）」を3月に、「METASPEED Edge（メタスピードエッジ）」を6月に市場投入しました。これらのシューズを着用した国内外のトップランナーの活躍もあり、12月末時点で194を超える自己ベストが出ました。

※ 長距離走における走法は、スピードを上げるに従い主に一步の歩幅（ステップ長）が変化するストライド型と、スピードを上げるに従い一步の歩幅も足の回転数（ピッチ）も変化するピッチ型の2つに分類することができます。また、走行スピードは歩幅の長さ×足の回転数の式で求められ、ストライド型では歩幅をより伸長させること、ピッチ型では歩幅の伸長に加え足の回転数を上げることが走速度向上に重要であることが当社の研究で分かりました。

#### ◇オニツカタイガー

オニツカタイガーの売上高は、前期比14%の増収となりました。

2月にミラノファッションウィークにブランドとして初めて参加。9月にも参加して22年春夏コレクションを発表しました。今後はミラノとロンドンを中心にヨーロッパでもブランドの活動範囲を徐々に広げていく予定です。

加えて、北京王府井にて中国で初となるTHE ONITSUKA(ジ・オニツカ)のストアを1月に、カリフォルニア州のビバリーヒルズにアメリカ西海岸で初となる旗艦店を3月に、世界屈指のショッピングストリートであるロンドンのリージェントストリートに世界最大の旗艦店を5月に、マレーシアクアラルンプールに旗艦店を11月にオープンしました。

#### ◇主要地域の状況

全ての主要地域において、主にパフォーマンスランニングが好調に推移したことにより、前期比で増収増益となりました。日本では前期比16%、北米では32%、欧州で22%、中華圏では28%の大幅増収となりました。

#### ◇サステナビリティ

サプライチェーンを通じて気候変動対策に取組み、温室効果ガス排出量の削減活動を実施していることが評価され、国際NPOであるCDPから上位企業8%が獲得する「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー・ボード」に3年連続で選定されました。また、世界の代表的なESG投資指標である「Dow Jones Sustainability Indices」の「Asia/Pacific Index」対象銘柄に7年連続で選出されました。12月には、サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲットの達成状況に応じて排出権を購入する国内初(当社調べ)のスキームを採用するサステナビリティ・リンク・ボンドを発行しました。

今後も引き続き、事業のあらゆる場面でサステナビリティに配慮した取組みを推進し、持続可能な社会の実現に向け、さらなる貢献に努めます。

#### ◇ROAツリーマネジメント

中期経営計画の目標指標の一つであるROAの最大化に向けての取組みを実施し、ROAは前期比で△5.0%から2.8%と約8%向上しました。

まず、ROA改善への施策を社内で浸透させるため、勉強会等を開催し落とし込みを図りました。そして、収益性向上に対して、コストオーナーによる販管費コントロールの取組みを強化させました。前期比で販管費率は48%から44%と約4%低減しました。

また、資金効率の観点では、前期比で在庫が減少する等、在庫抑制に継続的に取り組んだ結果、CCCは前期比で172日から134日と38日間の短縮となりました。

#### ① 売上高

感染症の影響はあったものの、パフォーマンスランニングやコアパフォーマンススポーツを中心に、全ての地域で好調に推移し、売上高は404,082百万円と前期比22.9%の増収となりました。

#### ② 売上総利益

上記増収の影響により、199,878百万円と前期比30.8%の増益となりました。

#### ③ 営業利益

上記増収の影響に加え、粗利益率の改善などにより、営業利益は21,945百万円となりました。

#### ④ 経常利益

上記増収増益の影響などにより、経常利益は22,166百万円となりました。

#### ⑤ 親会社株主に帰属する当期純利益

上記増収増益の影響により、親会社株主に帰属する当期純利益は9,402百万円となりました。

カテゴリ別の業績は、次のとおりであります。

なお、一部カテゴリについて算出方法を変更したことに伴い、前連結会計年度の売上高の実績を組み替えて表示しております。

また、当連結会計年度よりカテゴリ経営の更なる深化を目指し、カテゴリが管理可能な費用を定義した上で、新たに「カテゴリ利益」を前連結会計年度の実績と併せて算出しております。

(単位：百万円)

(カテゴリ)	売上高			カテゴリ利益		
	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減額 (△は減)	前連結 会計年度	当連結 会計年度	増減額 (△は減)
パフォーマンスランニング	159,033	208,268	49,235	24,903	42,634	17,731
コアパフォーマンススポーツ	33,540	41,332	7,792	1,388	5,004	3,615
スポーツスタイル	29,570	33,252	3,682	2,051	4,310	2,258
アパレル・エキップメント	29,790	34,115	4,324	△5,381	△175	5,206
オニツカタイガー	33,935	38,545	4,610	3,616	4,868	1,251

① パフォーマンスランニング

売上高は、全ての地域で好調に推移し、208,268百万円と前期比31.0%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、増収影響に加え、粗利益率の改善により、42,634百万円と前期比71.2%の増益となりました。

② コアパフォーマンススポーツ

売上高は、全ての地域で好調に推移し、41,332百万円と前期比23.2%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、増収影響に加え、粗利益率の改善により、5,004百万円と前期比260.5%の大幅増益となりました。

③ スポーツスタイル

売上高は、欧州、中華圏、オセアニア地域での好調により、33,252百万円と前期比12.5%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、増収影響に加え、粗利益率の改善により、4,310百万円と前期比110.1%の大幅増益となりました。

④ アパレル・エキップメント

売上高は、日本、北米、欧州地域での好調により、34,115百万円と前期比14.5%の増収となりました。カテゴリ損失につきましては、粗利益率の改善により、175百万円と前期に比べ損失は大幅に縮小しました。

⑤ オニツカタイガー

売上高は、中華圏、東南・南アジア地域での好調により、38,545百万円と前期比13.6%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、増収影響に加え、粗利益率の改善により、4,868百万円と前期比34.6%の増益となりました。

報告セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 日本地域

売上高は、パフォーマンスランニングやコアパフォーマンススポーツが好調であったことにより、109,911百万円と前期比16.4%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響および販管費率の低下などにより、1,193百万円と黒字に転換しました。

② 北米地域

売上高は、パフォーマンスランニングやコアパフォーマンススポーツが好調であったことにより、86,176百万円と前期比31.8%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響および粗利益率の改善などにより、848百万円と黒字に転換しました。

## ③ 欧州地域

売上高は、パフォーマンスランニング、コアパフォーマンススポーツやスポーツスタイルが好調であったことにより、106,604百万円と前期比22.1%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響および粗利益率の改善などにより、10,889百万円と前期比138.2%の大幅増益となりました。

## ④ 中華圏地域

売上高は、パフォーマンスランニングやオニツカタイガーが好調であったことにより、52,593百万円と前期比27.9%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響に加え、ホールセールやリテール向け商品の粗利益率の改善などにより、9,147百万円と前期比112.5%の大幅増益となりました。

## ⑤ オセアニア地域

売上高は、パフォーマンスランニングやスポーツスタイルが好調であったことにより、24,756百万円と前期比24.2%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、3,347百万円と前期比23.6%の増益となりました。

## ⑥ 東南・南アジア地域

売上高は、パフォーマンスランニングやオニツカタイガーが好調であったことにより、10,903百万円と前期比27.5%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、964百万円と前期比533.7%の大幅増益となりました。

## ⑦ その他地域

売上高は、パフォーマンスランニングやコアパフォーマンススポーツが好調であったことにより、35,133百万円と前期比24.3%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、1,797百万円と前期比284.3%の大幅増益となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の財政状態といたしましては、総資産345,773百万円（前連結会計年度末比3.8%増）、負債合計199,235百万円（前連結会計年度末比3.5%減）、純資産合計146,537百万円（前連結会計年度末比15.6%増）でした。

## ① 流動資産

現金及び預金の増加などにより、243,133百万円（前連結会計年度末比3.1%増）となりました。

## ② 固定資産

ソフトウェアの増加などにより、102,640百万円（前連結会計年度末比5.4%増）となりました。

## ③ 流動負債

1年内償還予定の社債の減少などにより、87,699百万円（前連結会計年度末比13.6%減）となりました。

## ④ 固定負債

社債の増加などにより、111,536百万円（前連結会計年度末比6.3%増）となりました。

## ⑤ 純資産

繰延ヘッジ損益の増加などにより、146,537百万円（前連結会計年度末比15.6%増）となりました。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

キャッシュ・フローにおきましては、当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、95,275百万円と前期比14,801百万円増加しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は49,146百万円となり、前期比29,815百万円の増加となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益14,120百万円、減価償却費14,051百万円、支出の主な内訳は、法人税等の支払額3,202百万円です。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は10,167百万円となり、前期比533百万円の増加となりました。

支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出6,322百万円、有形固定資産の取得による支出3,251百万円です。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の使用した資金は25,968百万円となり、前期比57,305百万円の増加となりました。

支出の主な内訳は、社債の償還による支出20,000百万円、リース債務の返済による支出8,285百万円、配当金の支払額6,589百万円です。

## キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2017年12月期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期	2021年12月期
自己資本比率 (%)	57.3	54.1	48.0	37.9	42.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	97.9	87.1	105.0	108.8	135.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.9	2.5	5.4	6.4	2.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	69.0	13.8	11.5	11.6	28.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標はいずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. 営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## (4) 今後の見通し

当社グループは2021年2月に「VISION2030」を制定し、「連結営業利益250億円」「連結営業利益率6.0%以上」「ROA4.0%」を2023年12月期の数値目標に設定いたしました。

2022年12月期の業績については第1四半期連結累計期間に生産混乱の影響が残ることに加え、物流コストの上昇などが見込まれる中、積極的なマーケティング投資を実行しつつも増収増益を計画しております。

なお、現時点で「中期経営計画2023」の変更はいたしません、2023年12月期の連結業績予想発表時にあわせて見直しを行う予定です。

通期連結業績の見通しは以下のとおりです。

(単位：億円)	通期連結業績		
	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (予想)	増減率
売上高	4,040	4,200	3.9%
営業利益	219	230	4.8%
営業利益率	5.4%	5.5%	0.1ppt
経常利益	221	225	1.5%
親会社株主に帰属する当期純利益	94	135	43.6%

カテゴリー別の連結売上高の見通しは以下のとおりです。

(単位：億円)	連結売上高		
	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (予想)	増減率
パフォーマンスランニング	2,082	2,230	7.1%
コアパフォーマンススポーツ	413	415	0.4%
スポーツスタイル	332	345	3.8%
アパレル・エクイップメント	341	345	1.1%
オニツカタイガー	385	445	15.4%

地域別の連結売上高の見通しは以下のとおりです。

(単位：億円)	連結売上高		
	2021年12月期 (実績)	2022年12月期 (予想)	増減率
日本地域	1,099	1,080	△1.7%
北米地域	861	870	1.0%
欧州地域	1,066	1,170	9.8%
中華圏地域	525	610	16.0%
オセアニア地域	247	230	△7.1%
東南・南アジア地域	109	130	19.2%
その他地域	351	370	5.3%
調整額	△219	△260	18.2%
合計	4,040	4,200	3.9%

連結業績予想に関する詳細については、当社ホームページ ([https://corp.asics.com/jp/investor\\_relations/library/financial\\_summary](https://corp.asics.com/jp/investor_relations/library/financial_summary)) をご覧ください。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上の最重要課題のひとつとして認識しております。また中期経営計画2023において設定いたしました、中期経営計画期間内の連結総還元性向50%以上の方針を達成すべく、利益配分の計画を検討してまいります。

当社の剰余金の配当は、中間配当（基準日6月30日）および期末配当の年2回を基本としております。

当期の配当につきましては、1株につき24円00銭（うち中間配当金12円00銭）を見込んでおります。

次期の配当につきましては、1株につき32円00銭（うち中間配当金16円00銭）と過去最高の配当を見込んでおります。

(6) 新型コロナウイルス感染症に関するリスク情報

新型コロナウイルスの世界的な感染再拡大により、当社グループの一部の直営店舗・商業施設での時短営業、外出自粛による来店客数の減少等、引き続き当社経済活動に影響を及ぼしております。

新型コロナウイルスの収束時期は依然として不透明であり、新型コロナウイルスの最終的な影響については予測しがたく、感染症拡大が今後長期化した場合には、財政状態および経営成績に悪影響を及ぼすリスクがあります。

## 2. 企業集団の状況

当社グループは、当社および子会社66社で構成され、スポーツシューズ類、スポーツウェア類、スポーツ用具類などスポーツ用品等の製造販売を主な事業内容としております。

### 《日本地域》

子会社であるアシックスジャパン(株)を通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

子会社であるアシックス商事(株)は、各地域の子会社へ当社ブランド製品の仲介貿易を行っており、また、自社企画・開発製品の販売を行っております。加えて、一部の当社ブランド製品の販売に伴い、当社にロイヤルティを支払っております。

### 《北米地域》

子会社であるアシックスアメリカコーポレーションなどを通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

### 《欧州地域》

子会社であるアシックスヨーロッパB.V.などを通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

### 《中華圏地域》

子会社である亞瑟士(中国)商貿有限公司などを通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

### 《オセアニア地域》

子会社であるアシックスオセアニアPTY. LTD.を通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

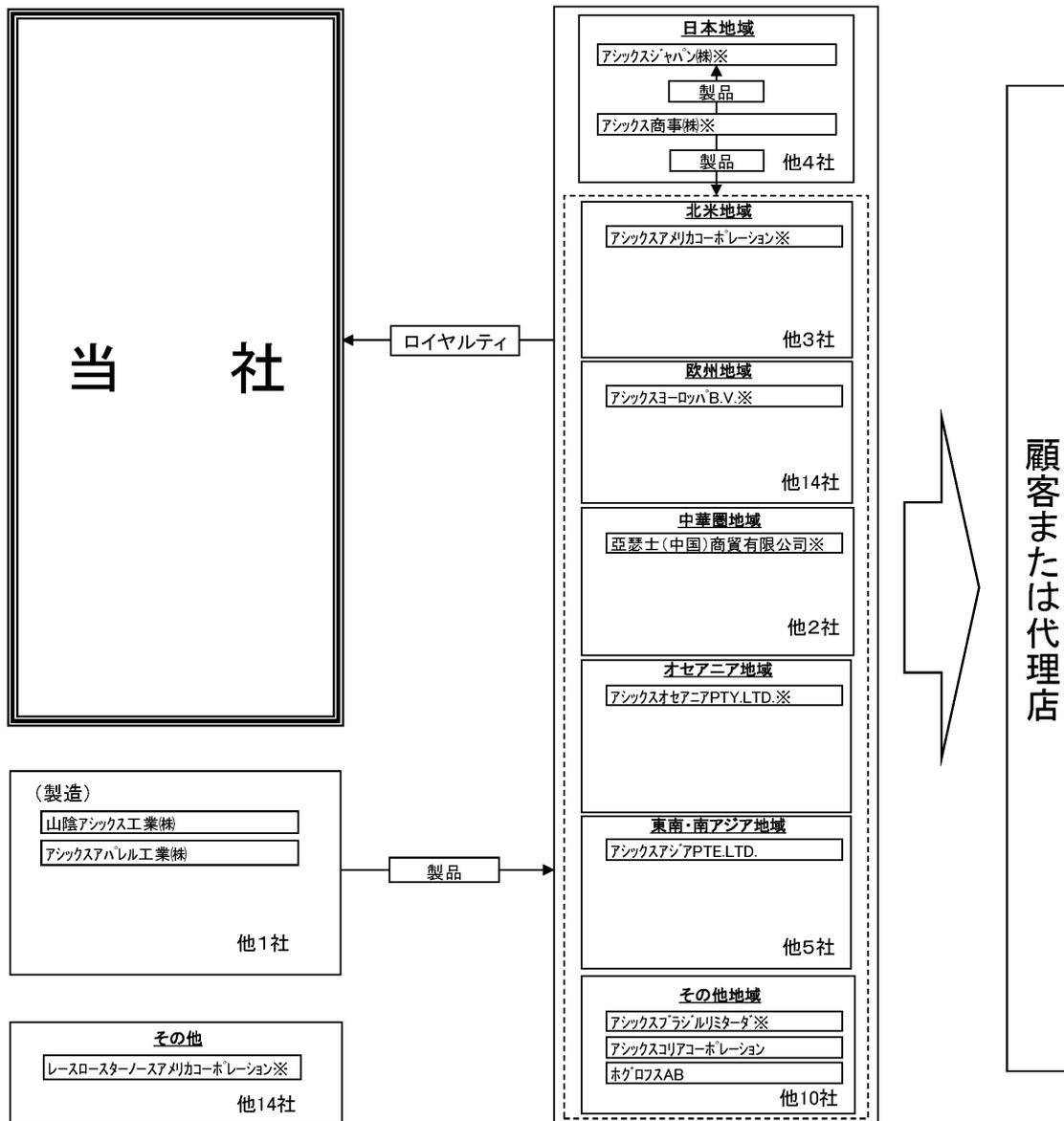
### 《東南・南アジア地域》

子会社であるアシックスアジアPTE. LTD.などを通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

### 《その他地域》

子会社であるアシックスブラジルおよびアシックスコリアコーポレーションなどを通じて、当社ブランド製品を販売しております。また、当社ブランド製品を取引先より直接購入し、当社にロイヤルティを支払っております。

事業の系統図の概略は次のとおりであります。



※特定子会社

(注) 当社は、販売子会社から、ロイヤルティを受取っております。またアシックス商事㈱から、一部の当社ブランド製品の販売に伴い、ロイヤルティを受取っております。

### 3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

国際財務報告基準（IFRS）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、システム環境整備を実施しながら適切に検討していく方針です。

## 4. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	81,469	96,298
受取手形及び売掛金	50,898	50,135
商品及び製品	86,621	79,155
仕掛品	358	297
原材料及び貯蔵品	1,144	594
その他	17,245	19,123
貸倒引当金	△1,924	△2,471
流動資産合計	235,812	243,133
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,111	36,056
減価償却累計額	△22,157	△22,736
建物及び構築物(純額)	13,953	13,320
機械装置及び運搬具	4,925	5,267
減価償却累計額	△2,953	△3,334
機械装置及び運搬具(純額)	1,971	1,933
工具、器具及び備品	30,478	30,201
減価償却累計額	△26,145	△27,313
工具、器具及び備品(純額)	4,332	2,888
土地	5,804	5,747
リース資産	7,088	7,443
減価償却累計額	△3,978	△4,616
リース資産(純額)	3,110	2,826
建設仮勘定	179	675
有形固定資産合計	29,352	27,391
無形固定資産		
のれん	2,462	2,856
ソフトウェア	6,316	8,422
使用権資産	25,091	23,960
その他	9,353	11,604
無形固定資産合計	43,223	46,843
投資その他の資産		
投資有価証券	9,104	10,219
長期貸付金	49	41
繰延税金資産	8,683	8,509
その他	7,653	10,825
貸倒引当金	△699	△1,189
投資その他の資産合計	24,792	28,404
固定資産合計	97,368	102,640
資産合計	333,180	345,773

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	33,002	30,459
短期借入金	6,219	5,200
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	7,888	8,173
未払費用	19,197	25,500
未払法人税等	893	4,328
未払消費税等	1,107	1,729
返品調整引当金	285	277
賞与引当金	300	460
資産除去債務	68	73
その他	12,551	11,495
流動負債合計	101,516	87,699
固定負債		
社債	60,000	70,000
長期借入金	2,500	2,500
リース債務	26,391	24,600
繰延税金負債	664	1,471
退職給付に係る負債	6,967	7,330
資産除去債務	1,261	1,544
その他	7,116	4,089
固定負債合計	104,901	111,536
負債合計	206,417	199,235
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	15,481	15,571
利益剰余金	107,392	110,205
自己株式	△10,344	△10,018
株主資本合計	136,501	139,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,340	1,830
繰延ヘッジ損益	△3,395	4,923
為替換算調整勘定	△7,911	△193
退職給付に係る調整累計額	△314	△211
その他の包括利益累計額合計	△10,280	6,349
新株予約権	398	313
非支配株主持分	143	143
純資産合計	126,763	146,537
負債純資産合計	333,180	345,773

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
売上高	328,784	404,082
売上原価	176,037	204,250
返品調整引当金戻入額	243	277
返品調整引当金繰入額	131	231
売上総利益	152,858	199,878
販売費及び一般管理費	※1 156,811	※1 177,932
営業利益又は営業損失(△)	△3,953	21,945
営業外収益		
受取利息	373	384
受取配当金	223	229
為替差益	—	398
補助金収入	318	606
過年度社会負担金還付額	—	618
その他	696	1,112
営業外収益合計	1,612	3,350
営業外費用		
支払利息	1,700	1,723
為替差損	1,626	—
譲渡制限付株式関連費用	84	179
貸倒引当金繰入額	—	417
その他	1,170	809
営業外費用合計	4,582	3,129
経常利益又は経常損失(△)	△6,923	22,166
特別利益		
固定資産売却益	10	50
投資有価証券売却益	74	63
特別利益合計	84	114
特別損失		
固定資産売却損	83	56
固定資産除却損	289	151
投資有価証券売却損	1	2
投資有価証券評価損	244	129
減損損失	※2 3,587	※2 1,996
割増退職金	※3 584	※3 107
店舗休止等損失	※4 2,605	※4 5,541
賃貸借契約解約損	※5 1,824	※5 172
特別損失合計	9,221	8,159
税金等調整前当期純利益 又は税金等調整前当期純損失(△)	△16,060	14,120
法人税、住民税及び事業税	4,005	6,748
法人税等還付税額	※6 △4,300	—
法人税等調整額	360	△2,007
法人税等合計	65	4,740
当期純利益又は当期純損失(△)	△16,125	9,380
非支配株主に帰属する当期純利益 又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	0	△22
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△16,126	9,402

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△16,125	9,380
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△713	489
繰延ヘッジ損益	△6,833	8,318
為替換算調整勘定	1,032	7,741
退職給付に係る調整額	△8	103
その他の包括利益合計	△6,522	16,653
包括利益	△22,648	26,033
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△22,651	26,031
非支配株主に係る包括利益	2	1

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益
当期首残高	23,972	15,481	126,967	△10,959	155,461	2,054	3,438
当期変動額							
利益剰余金から資本剰余金への振替		160	△160		—		
剰余金の配当			△3,288		△3,288		
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			△16,126		△16,126		
自己株式の取得				△1	△1		
自己株式の処分		△160		616	456		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	△713	△6,833
当期変動額合計	—	—	△19,575	614	△18,960	△713	△6,833
当期末残高	23,972	15,481	107,392	△10,344	136,501	1,340	△3,395

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△8,941	△306	△3,754	475	141	152,323
当期変動額						
利益剰余金から資本剰余金への振替			—			—
剰余金の配当			—			△3,288
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)			—			△16,126
自己株式の取得			—			△1
自己株式の処分			—			456
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,029	△8	△6,525	△76	1	△6,600
当期変動額合計	1,029	△8	△6,525	△76	1	△25,560
当期末残高	△7,911	△314	△10,280	398	143	126,763

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益
当期首残高	23,972	15,481	107,392	△10,344	136,501	1,340	△3,395
当期変動額							
剰余金の配当			△6,589		△6,589		
親会社株主に帰属する 当期純利益			9,402		9,402		
自己株式の取得				△6	△6		
自己株式の処分		89		333	422		
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	489	8,318
当期変動額合計	—	89	2,813	326	3,229	489	8,318
当期末残高	23,972	15,571	110,205	△10,018	139,731	1,830	4,923

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計			
当期首残高	△7,911	△314	△10,280	398	143	126,763
当期変動額						
剰余金の配当			—			△6,589
親会社株主に帰属する 当期純利益			—			9,402
自己株式の取得			—			△6
自己株式の処分			—			422
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	7,718	103	16,629	△85	0	16,544
当期変動額合計	7,718	103	16,629	△85	0	19,774
当期末残高	△193	△211	6,349	313	143	146,537

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益		14,120
又は税金等調整前当期純損失(△)	△16,060	
減価償却費	13,713	14,051
減損損失	3,587	1,996
のれん償却額	269	296
貸倒引当金の増減額(△は減少)	475	911
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	401	398
賞与引当金の増減額(△は減少)	△212	136
投資有価証券評価損益(△は益)	244	129
投資有価証券売却損益(△は益)	△72	△61
受取利息及び受取配当金	△597	△614
支払利息	1,700	1,723
為替差損益(△は益)	△10	△126
固定資産除売却損益(△は益)	363	158
その他の損益(△は益)	261	△822
売上債権の増減額(△は増加)	12,312	3,878
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,235	12,943
その他の資産の増減額(△は増加)	746	3,282
仕入債務の増減額(△は減少)	2,421	△4,759
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,050	579
その他の負債の増減額(△は減少)	1,896	5,458
小計	24,627	53,680
利息及び配当金の受取額	607	380
利息の支払額	△1,665	△1,712
事業構造改革費用の支払額	△677	—
法人税等の還付額	697	—
法人税等の支払額	△4,258	△3,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,330	49,146
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2	△71
定期預金の払戻による収入	231	170
有形固定資産の取得による支出	△3,768	△3,251
有形固定資産の除却による支出	△295	△54
有形固定資産の売却による収入	77	365
無形固定資産の取得による支出	△5,094	△6,322
無形固定資産の売却による収入	98	18
投資有価証券の取得による支出	△611	△800
投資有価証券の売却及び償還による収入	183	233
投資事業組合からの分配による収入	—	180
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△208
短期貸付金の純増減額(△は増加)	6	△2
長期貸付けによる支出	△8	△6
長期貸付金の回収による収入	9	15
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△460	△433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,634	△10,167

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	33	△1,027
長期借入れによる収入	2,500	—
長期借入金の返済による支出	△134	△15
社債の発行による収入	39,834	9,954
社債の償還による支出	—	△20,000
自己株式の取得による支出	△1	△6
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△7,599	△8,285
配当金の支払額	△3,294	△6,589
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,336	△25,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,456	1,792
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	42,489	14,801
現金及び現金同等物の期首残高	37,985	80,474
現金及び現金同等物の期末残高	80,474	95,275

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当連結会計年度 (2021年12月31日)
当座貸越極度額	194,500百万円	204,500百万円
借入実行残高	5,000百万円	5,200百万円
差引額	189,500百万円	199,300百万円

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れており、販売費及び一般管理費から前連結会計年度1,296百万円、当連結会計年度411百万円を直接控除しております。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
荷造運搬費	14,664百万円	16,664百万円
広告宣伝費	29,194百万円	31,583百万円
支払手数料	21,273百万円	27,047百万円
貸倒引当金繰入額	915百万円	526百万円
従業員賃金給料	36,551百万円	40,563百万円
賞与引当金繰入額	661百万円	1,408百万円
退職給付費用	1,042百万円	1,042百万円
賃借料	10,822百万円	11,439百万円
減価償却費	12,568百万円	13,201百万円

## ※2 減損損失

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

減損損失の内訳は以下のとおりです。

店舗資産等の減損損失	2,587百万円
米国旗艦店の減損損失	727百万円
その他	272百万円
合計	3,587百万円

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

減損損失の内訳は以下のとおりです。

店舗資産等の減損損失	1,877百万円
その他	119百万円
合計	1,996百万円

## ※3 割増退職金

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

欧州子会社の経営合理化に伴う特別退職金です。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

欧州子会社の経営合理化に伴う特別退職金です。

※4 店舗休止等損失

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルス感染症に対する政府・自治体からの要請等もあり、感染拡大の配慮から、日本・北米・欧州などにおいて、一部直営店を臨時休業致しております。休業期間中に発生した直営店の固定費(人件費・減価償却費など)を、店舗休止等損失として特別損失に計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れており、上記特別損失から469百万円直接控除しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初計画した一部店舗が開店できなかったことから、休業店舗の固定費(人件費・減価償却費など)および他店舗へ転用不可能な什器損失や在庫関連損失を店舗休止等損失として特別損失に計上しております。

なお、新型コロナウイルス感染症に係る補助金を受け入れており、上記特別損失から194百万円直接控除しております。

※5 賃貸借契約解約損

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

米国旗艦店の閉店および旧オフィスの立ち退きに伴い発生した、解約金その他による損失です。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

直営店の閉店に伴い発生した、解約金その他による損失です。

※6 法人税等還付税額

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

米国で成立したCARES Actに基づき、米国子会社にて計上した還付税額です。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## (セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理および商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品等を製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社およびその他の国内法人が、海外においては北米、欧州・中近東・アフリカ、中華圏、オセアニア、東南・南アジアの各地域を、アシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、亞瑟士(中国)商貿有限公司、アシックスオセアニアPTY. LTD. およびアシックスアジアPTE. LTD. などがそれぞれ担当しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値です。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

## 3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額(注) 1	連結損益計算書計上額(注) 2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	75,667	65,348	87,321	41,117	19,923	8,552	27,994	325,925	2,858	328,784
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18,730	29	20	1	2	0	265	19,050	△19,050	-
計	94,398	65,377	87,342	41,118	19,926	8,553	28,260	344,975	△16,191	328,784
セグメント利益又は損失(△)	△3,791	△4,548	4,572	4,305	2,707	152	467	3,864	△7,818	△3,953
セグメント資産	75,862	57,702	86,933	27,881	22,619	9,718	26,935	307,652	25,527	333,180
その他の項目										
減価償却費	1,147	1,424	4,427	1,795	813	726	968	11,302	2,411	13,713
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	227	1,330	1,215	216	267	276	169	3,703	4,700	8,404

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものです。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものです。

(3) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産およびセグメント間債権債務消去等によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額 (注) 1	連結損益計算書計上額 (注) 2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	83,381	86,148	106,579	52,584	24,755	10,903	35,080	399,432	4,649	404,082
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26,530	27	24	9	1	—	53	26,646	△26,646	—
計	109,911	86,176	106,604	52,593	24,756	10,903	35,133	426,079	△21,996	404,082
セグメント利益又は損失(△)	1,193	848	10,889	9,147	3,347	964	1,797	28,187	△6,242	21,945
セグメント資産	74,145	61,364	97,475	39,725	24,959	10,761	27,649	336,082	9,691	345,773
その他の項目										
減価償却費	709	1,221	4,636	2,076	1,195	879	993	11,713	2,337	14,051
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	313	1,004	1,253	277	244	219	220	3,533	5,881	9,415

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものです。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものです。

(3) セグメント資産の調整額は、報告セグメントに帰属しない全社資産およびセグメント間債権債務消去等によるものです。

2. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	合計
76,758	66,997	91,519	41,279	52,229	328,784

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	その他	合計
17,964	4,794	3,508	3,084	29,352

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

当社グループは、製品の種類、性質、製造方法および販売市場等の類似性から判断して、同種・同系列のスポーツ用品を専ら製造販売しているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	合計
85,902	88,156	112,144	52,808	65,070	404,082

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	北米	欧州	その他	合計
16,889	4,957	2,539	3,004	27,391

## 3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額	連結財務諸表計上額
減損損失	1,167	1,179	804	90	-	2	75	3,320	266	3,587

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額	連結財務諸表計上額
減損損失	116	122	1,534	85	-	-	18	1,877	119	1,996

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額	連結財務諸表計上額
当期償却額	-	-	-	-	-	-	-	-	269	269
当期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	2,462	2,462

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額	連結財務諸表計上額
当期償却額	-	-	-	-	-	-	-	-	296	296
当期末残高	-	-	-	-	-	-	-	-	2,856	2,856

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失および算定上の基礎ならびに潜在株式調整後1株当たり当期純利益および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
1株当たり純資産額	689.57円	798.08円
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△88.17円	51.38円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	－円	51.33円

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

	前連結会計年度 (自 2020年1月1日 至 2020年12月31日)	当連結会計年度 (自 2021年1月1日 至 2021年12月31日)
(1) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (百万円)	△16,126	9,402
普通株主に帰属しない金額(百万円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(百万円)	△16,126	9,402
期中平均株式数(千株)	182,888	183,004
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	－	－
(うちその他営業外収益(税額相当分控除後 (百万円))	(－)	(－)
普通株式増加数(千株)	－	182
(うち新株予約権付社債(千株))	(－)	(－)
(うち新株予約権(千株))	(－)	(182)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	RMB	AUD	SGD
2020年12月期会計年度 (円)	106.54	121.97	15.44	73.93	77.50
2021年12月期会計年度 (円)	109.78	130.06	17.03	82.40	81.80
増減 (円)	+3.24	+8.09	+1.59	+8.47	+4.30
増減比 (%)	+3.0	+6.6	+10.3	+11.5	+5.5

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

## (2) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比およびセグメント利益率

		日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	27.2	14.5	16.6	11.5	22.6	20.4
	(邦貨)	16.4	31.8	22.1	27.9	24.2	27.5	24.3
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	123.5	93.3	10.9	508.3	283.2
	(邦貨)	—	—	138.2	112.5	23.6	533.7	284.3
セグメント利益率 (%)		1.1	1.0	10.2	17.4	13.5	8.8	5.1